2025　夏のボランティア体験事業

報告書

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会

目　　次

１．夏のボランティア体験事業とは･･･　１ページ

２．2025 夏のボランティア体験事業について

（１）市内の福祉施設・団体へボランティアの受け入れを依頼　１ページ

（２）生徒・学生の募集　３ページ

（３）事前研修会　４ページ

（４）体験活動　６ページ

（５）事後研修会　７ページ

（6）施設懇談会　１４ページ

2025 夏のボランティア
体験事業　報告書

１．夏のボランティア体験事業とは･･･

■目　的　生徒や学生がボランティア活動の実体験を通して、社会福祉について理解を深めると共に、新しい発見や「ともに生きていく」視点について考える機会や体験する場を提供することを目的とする。

■対象者　ボランティア活動に関心のある市内に在住もしくは市内の中学校、高等学校、大学に通う生徒及び学生で、高梁市内での活動を希望する方

※事業への参加を希望する方は、次の研修会に参加しなければなりません。

▼事前研修会

ボランティア活動を実践していく上での心構え及び活動先との日程調整を行います。

▼事後研修会

ボランティア活動をより有意義なものにするため、活動を通じての感動・成果・悩みなどを仲間たちと分かち合う反省会を行います。

２．2025 夏のボランティア体験事業

（１）市内の福祉施設・団体へボランティアの受け入れを依頼

今年度、受け入れを希望していただいた市内の高齢者・障害者・児童関係の福祉施設、ボランティア団体は【表１】のとおりです。

【表１】「受入希望施設一覧表」

No.	施設・団体名	区分	地域
１	社会福祉法人　潤真会　特別養護老人ホーム白和荘	高齢	高梁
２	特別養護老人ホーム　グリーンヒル順正	高齢	高梁
３	介護老人保健施設ゆうゆう村	高齢	高梁

4	介護付有料老人ホームさくらの苑　デイサービス「はなみずき」	高齢	高梁
5	社会福祉法人　潤真会 看護小規模多機能型居宅介護ホーム・有料老人ホームなごみの森	高齢	高梁
6	グループホームウェルネス津川	高齢	高梁
7	グループホームケアポート生き活き館巨瀬	高齢	高梁
8	まつうらクリニックむつみの園	高齢	成羽
9	ひだまり苑	高齢	川上
10	高梁市社会福祉協議会　川上デイサービスセンター	高齢	川上
11	高梁市社会福祉協議会　川上いきいき交流館	高齢	川上
12	グループホームやすらぎ荘	児童	備中
13	たいようの丘	障害	高梁
14	NPO 法人 color	障害	高梁
15	NPO 法人　発達支援ネットワーク　つむぎ	障害	有漢
16	就労継続支援 B 型事業所　光憂庵	障害	成羽
17	社会福祉法人　P.P.P　P.P.P オールスターズ！布寄	障害	成羽
18	障害者支援施設　かわかみ療護園	障害	川上
19	高梁市立高梁こども園	児童	高梁
20	高梁中央保育園	児童	高梁
21	おちあいこども園	児童	高梁
22	高梁市立有漢こども園	児童	有漢
23	高梁市立成羽こども園	児童	成羽
24	高梁市立川上こども園	児童	川上
25	高梁市立備中保育園	児童	備中
26	富家学童保育	児童	備中
27	高梁市手話ボランティアの会	VO	高梁
28	通所ボランティアきらり	VO	有漢

※区分　高齢…高齢者関係の施設　障害…障害者関係の施設　児童…児童関係の施設　VO…ボランティア団体

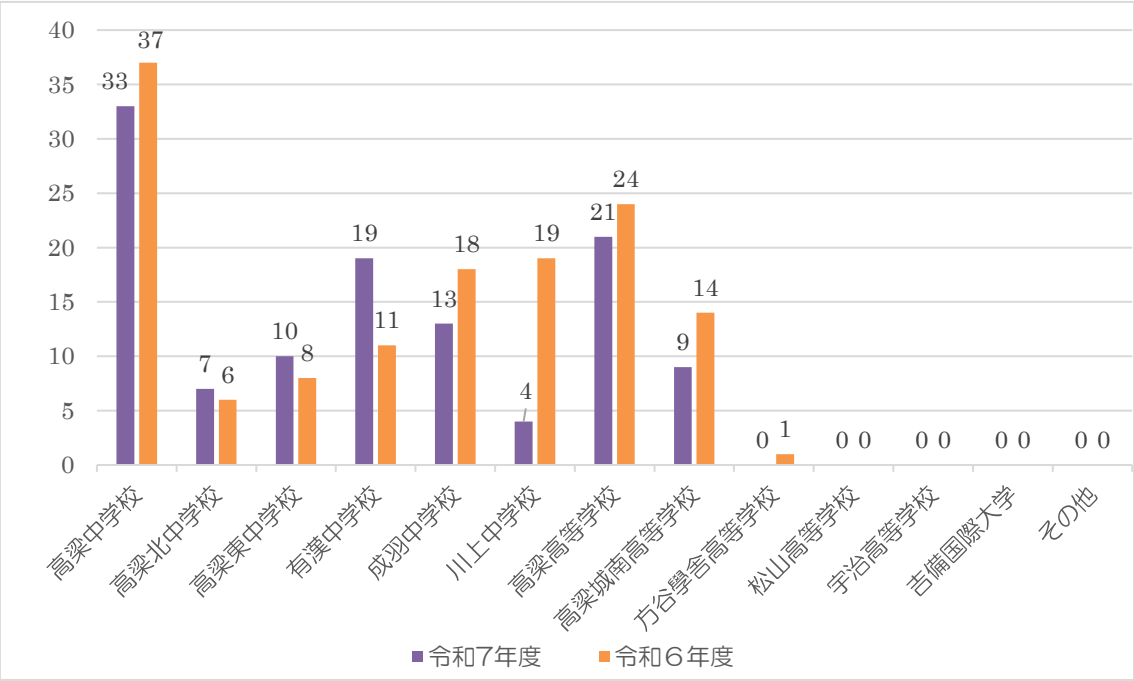
（２）生徒・学生の募集

高梁市社会福祉協議会のホームページ及び、【表２】にある市内の中学校・高等学校・大学を対象にボランティアを募集したところ、中学生・高校生１２７人の参加希望がありました。

【表２】「学校一覧表及び参加者年度別比較表」　（単位：人）

NO	学　校　名	令和７年度（A）		令和６年度（B）		前年度比較（A-B）	
		希望者	参加者	希望者	参加者	希望者	参加者
1	高梁市立高梁中学校	38	33	38	37	0	-4
2	高梁市立高梁北中学校	8	7	6	6	2	1
3	高梁市立高梁東中学校	10	10	8	8	2	2
4	高梁市立有漢学園	23	19	12	11	11	8
5	高梁市立成羽中学校	14	13	18	18	-4	-5
6	高梁市立川上中学校	4	4	19	19	-15	-15
7	岡山県立高梁高等学校	21	21	25	24	-4	-3
8	岡山県立高梁城南高等学校	9	9	15	14	-6	-5
9	方谷學舎高等学校	0	0	3	1	-3	-1
10	高梁市立松山高等学校	0	0	1	0	-1	0
11	高梁市立宇治高等学校	0	0	0	0	0	0
12	吉備国際大学	0	0	0	0	0	0
13	その他	0	0	0	0	0	0
合　計		127	116	145	138	-18	-22

【表３】「夏のボランティア体験事業参加者年度別推移」



（３）事前研修会

令和７年７月１２日（土）、高梁総合福祉センターで事前研修会を開催し、市内の中学生・高校生１０６人の参加がありました。

参加者は、ボランティア活動を行う上でのマナーや心構えについて学んだ後、希望する施設やボランティア団体の方と活動の詳細について打ち合わせを行いました。

なお、参加者は【表４】にある市内の高齢者施設等 18 施設・５団体で活動を行いました。

【表４】「活動受入施設と受入人数一覧表」　　（単位：人）

NO	施設名	受入人数
1	特別養護老人ホームグリーンヒル順正	1
2	老人保健施設　ゆうゆう村	10
3	介護付有料老人ホームさくらの苑 デイサービス「はなみずき」	2
4	グループホームウェルネス津川	5
5	まつうらクリニックむつみの園	2
6	ひだまり苑	2
7	グループホームやすらぎ荘	1
8	医療法人　梁風会　たいようの丘	4
9	NPO 法人 color	9
10	NPO 法人発達支援ネットワーク　つむぎ	5
11	障害者支援施設　かわかみ療護園	1
12	高梁こども園	9
13	高梁中央保育園	10
14	おちあいこども園	16
15	有漢こども園	3
16	成羽こども園	5
17	川上こども園	6
18	備中保育園	4
19	高梁市手話ボランティアの会	8
20	通所ボランティアきらり	10
21	高梁要約筆記サークル	3
22	たかはし朗読の会	1
23	災害ボランティア養成講座	4
合計		121

※複数施設での活動も含めています。

☆事前研修会の様子

（４）体験活動

参加者は、７月から８月の夏休みの間、施設でのレクリエーションのお手伝いや夏祭りの手伝い、園児のお世話、環境整備などのボランティア活動を１日～４日間程度行いました。また、これらの活動を通じて、高齢者や園児、また施設の方々と交流を深めました。

活動中の様子

保育園にて

保育園にて

高齢者施設にて

高齢者施設にて

（５）事後研修会

令和７年８月２４日（日）、高梁総合福祉センターで事後研修会を開催し、ボランティアを終えた８７名のボランティアの参加がありました。参加者は、「私の夏ボラは〇〇だった！！」というテーマで各自振り返りを行いました。そして、１６グループに分かれ、グループ内で共有し合い、出た意見を模造紙にまとめ発表しました。

（参考）【表５】　「私の夏ボラは〇〇だった！！」

【表５】「私の夏ボラは〇〇だった！！」

私の夏ボラは〇〇だった！！	理由
新しい発見が沢山	子供との接し方や先生達の１日の仕事内容など初めて知る事が沢山あったから。
積極性が必要	最初（１日目）は対応の仕方や次に何をすればよいのか分からず、ずっと指示を待つ状態だったけど、２日目から利用者の方に話しかけたり、活動を教えたりするとスムーズに交流できたから。
大変だったけど、楽しいボランティア活動	利用者さんの状態によって接し方を変えることが難しかったけど、「ありがとう」と言ってもらえて嬉しかったから。
笑顔でいっぱい	みんなが笑顔で迎えてくれてとてもうれしかったし、体験した２日間、ずっと笑顔でいることが多かったから。
ごほうび	こども園での夏祭りで準備やプール活動などで子供たちの笑顔をたくさん見ることができたから。
学び	子供が泣いた時やけんかした時の対処法についてよく知れたし、こども園での仕事や流れについて今までしらなかったことがよく知れたから。
将来に活かせる活動	こども園を体験して、将来、保育士になりたいから、保育士が普段どんなことをするのかが少しでも体験できたから。
幸せな３日間	小さい子たちと楽しくふれ合えたし、「明日もくる？」と言ってくれたのがうれしかったから。

保育士の大変さとありがたさが分かった。保育士を目指しているのでとても勉強になったボランティア	保育園児に対する言葉かけ（注意の仕方、ほめ方、注目のさせ方） 保育園児には見せない保育士の裏側の仕事（グラウンド整備、部屋やトイレの清掃、消毒）
多忙	子ども達のけんかの仲介に入ったり、眠そうな子を抱っこしてあげたり、外で走り回ったり、２日間で感情も体力的にもさまざまなことがあったから。
発見の連続	color では仕事内容や子どもの行動、してほしいことについて発見が沢山あったし、驚きもあったから。
新しい気づきがたくさん	障がいを持っている子や小さい子たちと接した時に、「そんなことができるんだ」や「そんな発想があるんだ」など自分の知らないことがたくさんあったから。
想像以上に大変	夏ボラが始まる前は子どもの面倒を見ることがどれくらい大変か知らなかったが、いざ０歳児をみることとなったとき、抱っこやけがをしないようにみるなどと体力を使ったから。
成長	はじめは子どもとの接し方が分からず困ることも多かったが、だんだんと分かってきて楽しく活動できたから。
笑顔あふれる良い体験	子どもとの接し方は中々難しいこともあったけど、「一緒に遊ぼ！」とか「ありがとう！」とか「先生、見て見て～！」とか楽しそうに私と関わってくれて自然と笑顔になれたし、将来の夢に近しい場所で実際の子どもと関わったり、職員の方から色々教えてもらえたりと良い経験になったからです！
自分の世界を広げる経験	聴覚障害者の方の生活など知らなかったことを学ぶことができたから。
みんなが笑顔になるボランティア	利用者の方とのお話をして、終始笑顔が絶えなかったから。

やりがいのある活動	子供の相手は大変だけど、活動後にやりがいを感じたから。今、自分がすべきことを常に考えていたから、身心ともに大変だったから。
楽しかったけど大変	色んなところの掃除や、外での草取りが大変でした。園児から遊びに誘ってくれたりしたから。
とても良い経験（学び）	将来の夢”保育士”につながる体験がしっかりと出来たから。 先生に言われたことを記憶して、掃除したり、子ども達と遊ぶことができたから。 先生方の行動がしっかり観察することが出来たから。
交流の場	災害ボランティアでは、講座を聞くだけではなく、近くの人と話し合いの時間もあったので、まわりの人との考えを知ることができたから。
知って得をする時間	講座の方々が優しくて、フレンドリーで一つ手話を知る度に自身のレベルが上がったように思う場面が多く、知る度得をする時間だったため。
よい学びと経験	日頃手話を学んだり、高齢の方と話す機会は中々ないので、この夏のボランティアで手話の仕方や高齢の方と話す際に気をつけることを学ぶことが出来たから。
コミュニケーション能力の成長	今回の夏ボラは「手話」と「施設の方々との交流」がメインでどちらも「話す」ということに共通したことだったから。
達成感のあるもの	子供達が笑顔でいる様子や喜んでくれている様子を見て、この場所を選んで良かったと達成感を得たから。
みんなのいい夏ボラ	みんな元気でけんかをせずに仲良しで良かったです。
新しいコミュニケーション方法を知ることができた	ボランティアで耳の聞こえない人に字を書いて話すことについて知って、ていねいに速く字を書く大切さを知ったから。
すごくやりがいを感じることばかり	園児のみんなに「先生本読んで～！」とか「先生！一緒に遊ぼ～！」とかいろいろ話しかけられたから、園の先生に「子どもたちのご飯入れてくれる～？」みたいな感じで頼られたから。
楽しかった	子どもたちとたくさん遊べたから

初めての体験	ボランティア活動も、朗読も初めて体験したから。
あこがれ	自分が先生の立場になって疲れながらも子どものめんどうをみていてすごいと思ったから。
楽しいの連続	園児たちが遊ぼうや、また来てと言われてうれしくて、また行きたいと思うほど楽しかったから。
将来の夢が持てる研修	園児とふれあい、保育士になってみたいと思ったからです。園児は「お姉ちゃん、遊ぼ！」とたくさん言ってくれてとても嬉しかったからです。
おまつり準備とかして楽しいボランティア	絵や習字、灯ろう、射的などいろんな物をつくれたから楽しかった。
聖徳太子になった気分で楽しかった	２歳児クラスに行って、あっちからもこっちからも話しかけられたから。話を聞きとれるようにがんばったけど難しかった。
楽しいボランティア	幼児と話したり、遊んだりしたことが楽しかったです。
学びの場	手話についての知識を学んだり、実際に使って交流をしたりして、手話についてたくさんのことを学ぶことができたから。
うれしさと優しさがいっぱい	みんなが優しく教えてくれたし、新しくできたときはうれしかったから。またボランティアがあればしてみたい。
学びの多い夏ボラ	聴覚障害者のための支援がたくさんあると知ったから。聴覚障害者にはいろんな人がいると知った。聴覚障害者は見た目だけでは判断できないと知った。
たくさんの会話を広げる夏	初めて、ボランティアに行ったときは不安でいっぱいだったけど、朝からたくさんの方に話しかけてくれて、とても楽しかったから。
経験	子ども達と関わる中で初めての経験を沢山したから。
貴重な体験	身近な人が介護施設などに行っていないというのもありますし、まず普段から中々行かない、関わらないところなのでそう思えば、今回はとても貴重な体験ができたと思ったからです。
笑顔いっぱい	利用者さんが笑顔で「ありがとう！！」をたくさん言ってくれたから。

子どもたちとふれあえる最高の経験	子供たちにお願いされたりしたときに子どもの可愛さを改めて感じたから。
言葉が大事	発達が遅れている子たちと話すとき、ちょっと話すのが難しい時があったから、「ありがとう」「ごめんなさい」の簡単な言葉で会話したから。
楽しい３日間	子どもとたくさん一緒に遊べたから。子どもがいっぱい話しかけてくれてうれしかったから。
初めてのことばかり	夏ボラに参加すること、グループホームに行ったこと、認知症の方と関わることなど初めての経験をたくさんしたから。
ぼうけん	普段普通に生活していても、あまりできないような経験、体験をしたから。
たくさんの笑顔	保育園の子たちはいつも笑顔でとても明るく楽しい時間だったから。
優しさでいっぱい	児童や先生が優しく接してくれたし、進んであいさつをしてくれたから。
あたらしいまなび	知らないことや覚えておくことが多かったから。
とても刺激的	寝かしつけや着替えの手伝いなど、体験したことないことをたくさんしたから。大変なことも楽しいこともたくさんあったから。
笑顔いっぱい	たくさんのおはなしをして笑顔になったから。何をしても笑顔で
忘れられない夏ボラ	会う回数が増えることで、私の名前を覚えてくれたり、一緒に楽しくすごす時間が私にとってとても有意義な時間だったから。もう一度今年行った事業所に、もう一度行きたいと思ったから。
楽しい時間がたくさん	施設の利用者の方々とたくさん話したり、物を一緒に作ったり、楽しいことがたくさんだったから。利用者の方々は私が思っていたより元気な方も多く、とてもにぎやかで楽しそうだなと思った。
たくさんの学び	話をたくさん聞き、一つ一つが興味深く、印象に残っており、いろんなことを学べたから。
うれしい	「先生」と呼ばれたこと。子ども達の笑顔が見れたこと。

沢山のふれあい	人の気持ちなどを考えることが多かった！色々な年齢の方方々とふれあうことができて本当に良かった。
新しいの連続	災害ボランティアについて新しいことがたくさん知れたから。
大切な体験	外で園児たちと遊んだり、ご飯を食べさせたり、普段は体験できないようなことができたから。
防災について新しい知識が増えた	リアルタイムで危険度を色分けし、示しているキキクルというのがあることを初めて知ったからです。
子ども達の笑顔が癒し	笑顔を見ると疲れが吹っ飛んだから。
新しいことの連続	受付やたくさんの調理をするなどのやったことのないことを経験したから。
貴重な経験	あまりない事をさせてもらったから。
楽しくすごせる場所	みんなで歌を聞いたり、お話したり、遊んだ利できる場所だったから。
大変さが分かる体験	利用者さんの運動を手伝ったり、入浴や食事の配膳をほぼ毎日行うことは大変だと実感したから。
新しいの発見	一つ一つの細かい作業が大変だったから。
はじめての経験	利用者さんとのコミュニケーションや、利用者さんのサポートをするのがはじめてで緊張したけどいい経験だったから。
笑顔と発見	ボランティアの方々はおじいちゃん、おばあちゃんの前ではいつも笑顔で接していたから。車での送迎の時、台を置いておりやすくするなどの些細な気遣いを発見できたから。
新しいこと挑戦	初めて夏ボラに挑戦し、その中でも、今まで関わったことがない高齢者の人と一緒に色々な体験をすることになったため。
とても大変	覚えることがたくさんあったり、遊びに誘ってくれる子ども達の相手をするのは大変だったけどやりがいがあったし、いい経験になったから。
おどろきの連続	大変な仕事が多かったから。保育士の大変さに驚いた。
楽しくて大変	どの仕事もやりがいがあったが、やはり子供への接し方が難しかった。
新しい経験	普段だとできないことをたくさん経験できたから。

高齢者の良さに気づいた体験	いつも笑顔で話していたから。
楽しくいい体験	お年寄りの人との交流やボランティアの人たちと楽しくすることができたから。
感謝することの大切さを知るもの	料理や手伝いなどすることの大変さを知ったから。
楽しい経験	利用者の方や施設の方が優しく、笑顔で活動ができたから。
優しさのかたまり	お年寄りの人たちがみんな優しく
笑顔がたくさん	小さい子ども達のお世話をしていると笑顔になっていたり楽しそうだったから。
大人の階段の連続	普段は経験することができないことをまかされたり、自分たちだけで考えて行動したから。
良い経験	子ども達とどう接したらよいのかなど分かったからです。
笑顔がいっぱい	一緒に何かした時に、利用者さんたちが笑顔になるとスタッフも笑顔になったからです。
疲れたけど楽しくできた	子ども達と遊ぶだけではなくて、ご飯を食べさせてあげたり、着替えを手伝ってあげたり、色々なことをしたから。
経験	初めて経験することも多かったけど楽しいこともあっていい経験ができてよかった。
大変	子どものところになじんでいっぱい遊んでもらったから。
たくさんのことを知れるいい体験	保育士についてたくさん知り、たくさんのことを学ぶことができたから。

☆事後研修会の様子

（6）施設懇談会

令和７年９月３日（水）、高梁総合福祉センターで、ボランティア体験事業の実施にあたりご協力いただいた受入施設・団体の方と、本会との施設懇談会を開催しました。８施設・２団体に出席をいただきました。

ボランティア体験の受入施設やボランティア団体の方からは、ボランティア活動についての認識や取り組み方について、貴重なご意見を頂きました。

（参考）【表 6】「2025 夏のボランティア体験事業におけるご意見」

◎受入施設・団体からのコメント（一部抜粋）

- 多忙の中、学生がきてくれたことで助かったところもあり、とてもよかったと思う。
- また来年もきてほしいと思う。
- 今年初めて夏祭りの当日に参加してもらい、入所者と一緒に楽しんでもらえた。
- 2016 年以来のボランティア受け入れとなった。（活動参加者がいなかった、コロナ禍のため）利用者さんとコミュニケーションを図ることができた。夏祭りで、アトラクションに出ていただいた。利用者さんがとても喜ばれた。日を過ぎるごとに利用者さんの対応、活動、積極的に動けている様子がみられた。とてもいい刺激となり、利用者さんスタッフにとても良い体験となった。
- 来られた学生さんが自分の夢、目標に向けて自分で学びたいという気持ちが強く、充実したものになったと言ってくださって、こちらも受け入れて良かったと思った。利用者さんとしても若い学生さんがこられて楽しくお話ができたことに喜ばれていた。
- お子さんとしっかり関わり、お子さんにとっても外部の人と良い経験になり、ボランティアにとっても学びや経験へとつながる相互の笑顔がみられたことが良かった。
- ボランティア同士で連携してどのような方法が作業の効率が良いのか、全体を見て関わったりと相談して取り組まれていた点も良かった。

- 新園舎の引っ越しの時の受け入れだったので、子どもたちのことを見てもらったり、片付けや環境整備などもしてもらえたので助かった。
- ボランティアの楽しさを感じた。
- とても熱心に学んでくれ、聴覚障害者や手話に対する理解が深まってくれたと思います。
- 団体の活動を知ってもらう良い事業であったと思う。多くの体験等をする良い活動だったと思う。ボランティア活動の内容を知ってもらえたと考えられる。

【表 6】「2025 夏のボランティア体験事業におけるご意見」

	課題とその内容
1	**●ボランティアノートへのコメントの記入について** ボランティアノートへのコメントの記入について、記入時間の確保が難しい。
2	**●活動中の留意事項について** 守秘義務がもれた。事前研修会で守秘義務について念入りに伝えてほしい。
3	**●ボランティア活動について** 挨拶をせず帰る。無断欠席があった。
4	**●連絡先について** 活動希望者調整用紙に連絡先が 1 つしか記入されてなく、連絡がつかないことがあった。最低でも 2 つは連絡先を知りたい。 また、活動に対する問い合わせ先はどこになるのか明確に伝えておいてほしい。 （社会福祉協議会なのか学校なのか）
5	**●アレルギーチェック** 活動にあたって、食事の提供がある場合、事前にアレルギーチェックをしておける記入欄があっても良い。
6	**●事前研修会の欠席者に対して** 事前研修会に出席していないと、活動ができないと認識している生徒がいた。 共通認識できるようにしてほしい。

２０２５夏のボランティア体験事業報告書

※2025 夏のボランティア体験事業報告書は、ホームページにも掲載しています。

HP：http://www.takahashi-shakyo.org/

（発行）社会福祉法人高梁市社会福祉協議会
〒716-0029　高梁市向町 21-3
TEL：0866-22-7243　　FAX：0866-22-0845
E-MAIL：yatosa@mx9.tiki.ne.jp